

THE THREAD OF HEAVEN: THE LEGEND OF KAMINAGA-HIME

三陸 × インドネシア × 台湾

陸前高田から、海を越えて世界へ。
伝統の神楽、現代ダンス、未知の音。
漂着物に命を宿し、天地を繋ぐ舞へ。
いま、再生の神話が幕を開ける。

ABOUT — 作品について

『髪長姫』は、東日本大震災後、被災地に寄り添い、芸能を学んだアーティストたちが、三陸に伝わる「龍神伝説」と地域の風土をもとに、アジアの仲間と共同創作する現代の壮大な歌舞劇です。

舞台を彩るのは、海岸に漂着した“海洋ゴミ”から生まれた美術や衣装。三陸の神楽、ガムラン、アジアに共通する竹笛——。異なる文化と音が響き合い、現代社会が抱える「業(ゴミ)」が、未来へ手渡す「神話」へと昇華していきます。

STORY

リアス海岸の漁村に暮らす漁師・樫(カイ)は、幼なじみの網元の娘・シノに秘かな想いを寄せていた。だがある嵐の夜——シノは龍神に攫われ忽然と姿を消す。樫は深い絶望に沈む。

そんな樫の前に現れたのは、怪しげな山伏・弘海(コウカイ)。
樫は弘海から“神と交わる”舞を学び、村を支配する大肝煎(おおきもいり)による搾取に立ち向かう。村人たちは神楽で一揆の旗を掲げ、再び結束を取り戻す。

やがて、舞が最高潮に達したその時——海洋ゴミから蘇ったのは、龍神とシノの子・髪長姫。
彼女の穢れなき黒髪と神秘的な舞は村を照らし、樫に“未来への金言”を授ける。

神楽 × ガムラン × 竹笛

響き合う音の渦の中、樫は仲間と共に海へ漕ぎ出す。そこにあるのは、絶望の先に選び取るべき未来——。

